

平成 19 年 度
日本丸メモリアルパーク
事業計画書

帆船日本丸記念財団・JTB 共同事業体

平成 19 年度 事業計画

平成 19 年度は、財団法人帆船日本丸記念財団と株式会社ジェイティービー（以下「JT B」という。）との共同事業体による日本丸メモリアルパークの指定管理者として 2 年目を迎え、指定管理者として結果が求められています。

試行錯誤の連続だった 1 年目の反省と実績の上に立ち、積極的に事業を推進してまいります。このため、前年度にも増して認知度アップのための広報、事業企画、営業活動等を効果的かつ効率的に実施し、より一層の集客力と収入の向上を図るとともに、海洋・海事思想の普及や市民がふれあいくつろげる憩いの場としても寄与できるよう、種々の事業を展開してまいります。そして、利用者に満足していただき、繰り返しご利用いただけるような施設づくりをめざしてまいります。

1 帆船日本丸事業

1 帆船日本丸保存事業

帆船日本丸を良好な状態で保存するために次の整備を行います。

(1) 日常保守点検

- ア 観覧者通路・公開区域の安全点検整備
- イ 船内及び甲板清掃、船内真鍮磨き
- ウ マスト・ヤードその他帆装ぎ装の点検整備
- エ 木甲板ピッチ補修
- オ 船体点検整備
- カ その他

(2) 年次船体整備

「船舶安全法」に基づく検査にあわせて次の工事を実施します。

- ア 第一種中間検査受検工事
- イ ワイヤー類締め直し及び調整
- ウ 清水タンク内部点検及び修理
- エ 機関室内ポンプ更新
- オ マスト・ヤード塗装
- カ ワイヤー塗装
- キ その他

(3) 災害防止

ア 観覧者及び展帆・甲板ボランティアの安全の確保

イ 船内防災センターにおいて火災、浸水及び不法侵入者等に備えて24時間体制で集中監視を実施

2 帆船日本丸公開事業

年間を通じてPR活動に取り組み、積極的に観覧者の誘致に努めながら帆船日本丸を公開します。

(1) 公開日等

公開日	次の日を除く毎日 月曜日（祝休日にあたる時は公開し、翌日が休館日。但し、5月1日、8月13日は開館） 年末 12月29日から12月31日まで 船体整備 1月28日から 2月25日まで
公開時間	3月～10月 午前10時～午後5時 19年度も夏季における土曜、日曜日等において午後6時30分までの時間延長を行う。 11月～2月 午前10時～午後4時30分
観覧料	帆船日本丸・マリタイムミュージアム共通 おとな(高校生以上) 600円(500円) こども(小・中学生) 300円(200円) * ()内は20人以上の団体料金

(2) 総帆展帆日

ボランティアの協力を得てセイルを張った美しい姿をより多くの市民に見ていただくとともに、日本丸メモリアルパーク内の賑わい創出を図ります。

4月29日(祝) 5月 6日(日) 5月27日(日)
6月24日(日) 7月16日(祝) 8月 5日(日)
8月26日(日) 9月17日(祝) 9月30日(日)
10月21日(日) 11月 4日(日) 11月25日(日) 計12回予定

(3) 満船飾

祝日及び開港記念日には満船飾を実施し、華やかさをより演出します。

4月29日(祝) 5月 3日(祝) 5月 4日(祝)
5月 5日(祝) 6月 2日(土) 7月16日(祝)
9月17日(祝) 9月23日(祝) 10月 8日(祝)
11月 3日(祝) 11月23日(祝) 12月23日(祝)

- 1月14日(祝) 3月20日(祝) 計14回予定
- (4) 登檣礼の実施 7月16日(祝)
- (5) 展帆ボランティアの養成
 総帆展帆実施のための要員確保を図るために年2回一般市民からボランティアを募集し養成します。

3 青少年錬成事業

海のロマンを象徴する帆船日本丸は、青少年が団体生活に親しむ教育訓練及び海、港、船に関心を高め関連する知識を学ぶ格好の教材です。

帆船日本丸を活用して青少年錬成のための海洋教室を開催し、海事思想の普及を図ります。

(1) 海洋教室の概要

ア 目的

帆船日本丸での規則正しい団体生活を通じて青少年にたくましい体力と精神力そして協調性・友愛・責任感・注意力等を培い、海、船、港に関する理解と知識の増進を図ります。

イ 対象

小学生以上(1日コース及び宿泊コースは4年生以上)

ウ 内容等

種 類	内 容	募集見込数
半日コース (4時間コース)	概要説明、船内見学、甲板清掃、操帆訓練、登檣訓練、結索訓練	210人
1日コース (7時間コース)	概要説明、船内見学、甲板清掃、操帆訓練、登檣訓練、結索練習、カッター訓練	430人
宿泊コース	概要説明、船内見学、甲板清掃、操帆訓練、登檣訓練、手旗訓練、避難訓練、船長講話、結索訓練、カッター訓練、マリタイムミュージアム見学	700人

4 教育普及事業

帆船日本丸を活用して、日本丸の魅力と帆船の文化を知ってもらうための事業を行います。

(1) 日本丸ロープワーク教室と船内見学

日本丸乗組員の指導で帆船に欠かせないロープワークを学んでもらう

- とともに、船内見学を行います。
- (2) 日本丸バウスプリット渡りと船内見学
日本丸乗組員の指導でバウスプリット渡りを行い帆船作業の一端を体験してもらうとともに、船内見学を行います。
 - (3) 日本丸甲板みがき体験と船内見学
日本丸乗組員と椰子の実を使って甲板みがきを体験してもらうとともに、船内見学を行います。
 - (4) 船上展帆見学
総帆展帆を行っている日本丸船上で帆船作業を間近で見学してもらいます。
 - (5) 展帆作業体験
訓練を受けた市民ボランティアによる展帆作業の一部を体験してもらいます。
 - (6) 総合学習の受入
総合学習の一環として体験学習や課外活動を積極的に受け入れます。

2 横浜マリタイムミュージアム事業

1 常設展示事業

横浜マリタイムミュージアムの中心事業として、横浜港と日本の近代化をテーマにした5つのゾーンで構成されている展示品を一般公開し、かつ、常に良好な状態を保つよう維持保全します。

(1) 公開日等

公開日	次の日を除く毎日 月曜日 (祝休日にあたる時は公開し、翌日が休館日。但し、5月1日、8月13日は開館) 年末 12月29日～12月31日 くん蒸期間 2月5日～2月8日
公開時間	帆船日本丸に同じ
観覧料	帆船日本丸と共通券 帆船日本丸が船体整備中はマリタイムミュージアム単独券を発行

(2) 保守

常設展示にはコンピューター、レーザーディスク、DVD、モニターなどを複合的に組み合わせた映像展示等が多いため、職員による日常的な保守及び軽微な修繕のほか専門業者による保守点検、清掃を定期的に行います。

このほか、故障及び劣化、老朽化した展示品の修理、補修を適宜行い展示品の良好な維持管理を図ります。

2 特別展示事業

横浜マリタイムミュージアムを常に生きた博物館とするために、常設展示のテーマをより深めたものや常設展示では扱えなかったテーマ、あるいは日常の資料収集、調査研究の成果に基づいたテーマを設定し企画展を開催します。

秋の企画展のほか2回のテーマ展を開催します。

(1) 企画展

10月から11月に「セーラー服と縞のシャツ」をテーマに開催。

(2) テーマ展

ア 4月から6月に「横浜港の船の絵師 萩原富吉展」を開催。

イ 平成20年2月から4月に「横浜港の臨港鉄道展」(仮称)を開催。

(3) その他展示会

8月に「工作教室作品展・ポートウォッチング観察表展示会」を開催。

3 教育普及事業

船や港、海に関する市民の興味や関心、そして学習を深めるため次の事業を行います。

- (1) 工作教室
小学生を対象に船に親しみ、船の形と機能を理解するため、ゴム動力、モーター、ソーラーによって実際に動く船の模型を作ります。
- (2) ポートウォッチング
小中学生を対象に横浜港に出かけて港の施設や船の様子を観察し観察表を作成します。
- (3) 船の見学会
親子が一緒に参加して、横浜港内に停泊中のコンテナ船や巡視船、クルーズ客船などに乗船し船内を見学します。
- (4) 学芸員体験講座
高校生以上の大人向け講座。博物館の裏側の見学や実際の仕事を体験します。
- (5) 大人のための船のペーパークラフト教室
時間をかけて船のペーパークラフトを作ります。
- (6) 親子海図教室
親子一緒にさまざまな海の地図についての話と海図を使った作業を行います。
- (7) なるほど！ミナト散歩
学芸員の案内で横浜港域をめぐり、港の歴史や現状を学びます。

4 調査・研究・収集・出版活動事業

- (1) 資料調査・研究等事業
横浜港を中心に資料の調査・研究・収集・整理・保存を行い、その成果を広く公開するとともに、展示や教育活動に反映させます。
- (2) 出版活動
企画展に合わせた図録等を出版します。
- (3) 資料貸出し・レファレンス
資料の貸出しや閲覧、問合せ・照会等レファレンスサービスを行います。

5 ライブラリー事業

港や船、海に関する図書・雑誌・ビデオ(映像)等を収集、公開、利用者に学習、研究の場を提供します。

- (1) 公開日・公開時間
ミュージアムの公開時間と同じ。但し、閉室時間はミュージアム閉館の15分前。

(2) 利用方法

ミュージアムの入館者の利用は無料。ライブラリーのための利用は1人100円。

コピーサービス(有料)のほか、レファレンスサービスを行います。

ライブラリー以外に書庫の図書、逐次刊行物も利用できます。

(3) 収集計画

港湾(横浜港)、港運、海運、船舶、航海等に関する図書、逐次刊行物、映像等の収集を行います。

(4) 整理

収集した図書を装備、配架し、またカード目録を作成し利用者の利便を図ります。

(5) 保守

映像装置等の保守点検を定期的に行い良好な状態を維持します。

3 日本丸メモリアルパーク事業

指定管理施設を公共施設としてふさわしい安全管理と環境を維持するとともに、有効活用を図るため、次の事業を行います。

1 日本丸メモリアルパーク(港湾緑地)の維持管理・活用

(1) 安全管理・美化

日本丸メモリアルパークの安全管理、景観・緑地保全、美化清掃を実施して、施設の環境の維持保全を図り、来園者が快適に過ごせる空間を提供します。

(2) 撮影

日本丸メモリアルパークでの撮影の休館日使用など使いやすい工夫をして利用促進を図ります。

(3) 催事

日本丸メモリアルパークにおける各種催事の企画やイベント誘致で利用促進と賑わいを創出します。

2 研修施設(訓練センター)の管理運営

訓練センターの一般貸出について、積極的に広報宣伝して利用率を高めます。夜間についても午後10時まで貸出します。

4 集客・プロモーション事業

JTBの集客・プロモーション能力を活かし、目標と目的を定めて、より一層効果的な営業、誘客活動、イベント企画、広報活動を展開して利用者増加と賑わいづくりに努めます。

1 JTB ネットワーク活用プロモーション

指定管理者初年度の18年度に行ったJTBプランの内容の充実とプラン数増加を図ると同時に、新しく県内支店等に対する入場券、ウミキュー券等の取扱の強化などJTBのネットワークを使った利用促進に努めます。

(1) JTB 商品企画実施決定済みプランスタート

18年度に企画実施が決まった修学旅行向け教育プラン「Let's JTB」海洋教室の半日コース正式登録、また、個人旅行向け商品プラン「エースJTB 東京探訪：横浜コース」（期間19年4月～9月／マリタイムミュージアム・日本丸集合・見学プラン）を実施します。

(2) 新規取組

ア JTB グローバルマーケティングの斡旋により、海外からの観光客動員施策を行います。「SUNRISE TOURS」パンフ、webへの日本丸掲載などを予定。

イ 神奈川県内及び首都圏エリア各支店での入場券、ウミキュー券取扱。

ウ JTB 各支店でのオリジナルグッズ「日本丸チョコロQ」販売取扱。

エ JTB 社内会議会場として訓練センター使用を提案。（平日の教室稼働率促進）

(3) JTB ネットワークをメディアとして活用

ア 旅行商品パンフレット等への日本丸・マリタイムミュージアムの掲載を図り、広告メディアとして活用します。

イ 各支店店頭へのリーフレット類設置促進。（横浜市内店舗設置済み）

2 日本丸メモリアルパーク利用促進プロモーション

(1) 民間企業の販売促進会場としての積極的なアクションプランの遂行

ア 通常の緑地スペース貸し、撮影会場としてのプロモートを積極的に行い、内容によってはタイアップし、入館者増に繋げるべく相乗効果を狙います。

イ 広告代理店、イベント制作会社へのダイレクトメール送付。

(2) みなとみらい周辺施設と連携したタイアッププロモーションの充実

ア JTB との関係が深い周辺施設、パシフィコ横浜、横浜コンベンションビューローを始めとして周辺ホテルとの連携を強化します。その他の

施設ともインセンティブ契約を行い、付加価値サービスの向上も積極的に行います。

イ 周辺施設との定期的な共同プロモーションを試行します。

(3) アクセスインフラ各社とのタイアップ

ア 横浜高速鉄道とのタイアップを継続し、強化します。

- ・ 駅コンコース貼ポスター、改札脇インフォメーションラックスペースの確保など、アドスペースの有効活用。
- ・ 高速鉄道のお得な一日乗車券を核とした、みなとみらいツアープランの設計、提案を積極的に行います。特に修学旅行で来浜する東海、北陸、東北の中学校へ旅行会社を通じてコース提案を働きかけます。

3 市内・県内外小中学校及び各団体関連プロモーション

(1) 市内・県内外小中学校への積極的働きかけ

来館率向上のため、市内小学校及び県内市町村小・中学校への訪問セールス強化、さらに横浜エリアへ訪れる県外中学校への集中的なセールス活動を行います。

(2) 誘致に成功したイベントの強化

ヨコハマ・シーサイドフェスティバルなど18年度に日本丸メモリアルパークへ誘致し成功した市民参加型イベントについて、19年度以降も継続させ、より市民に愛され支持されるイベントに成長させ、メモリアルパークで実施することの価値を高められるよう努力していきます。

(3) 市内・県内各種団体への来場促進

ア 各地域で活動している組織（少年野球、サッカーチーム、コーラスグループ等）の監督、幹事さんへのダイレクトメール・セールス。

イ 県下金融機関、クリーニング組合、美容・理容組合等への入場券の販売促進使用を依頼します。

ウ 市民・県民共済への会員向け入場券活用依頼セールスを行います。

(4) 開港150周年に向けたプレプロモーション会場を目指す

メモリアルパークを横浜開港150周年事業のベイエリアにおけるプロモーション活動の場となるよう、横浜市港湾局、JTB首都圏団体旅行横浜支店と連携を図り、イベントの誘致を行います。

4 サービス業としての環境インフラ整備

(1) 施設等の新しい広告スペースの販売

広告スペースとして可能性があるミュージアムエントランス、入場券、リーフレットなどのスペースを積極的にセールスします。

(2) 定例イベントの強化と認知促進

実績、効果のある主催イベントを再整備・強化し、今まで以上のタイムリーな告知・PRを展開し、多くの方々にご来場いただけるよう認知促進を図ります。

(3) 日本丸メモリアルパークへの動線表示案内の充実

現状の動線案内サインを見直し、みなとみらい街づくり協議会の方針に基づき、デザイン統一された各種サインを必要な場所に設置します。

(4) お招きする側としての意識改革と接客対応

ご来場いただいたお客様に気持ちよく過ごしていただき、また来ようと印象づけられるよう、日常業務、朝礼、接客マナーなど、徹底的な見直しを行い全職員のサービス業として意識改革を行っていきます。

5 自主事業

帆船日本丸及び横浜マリタイムミュージアム、メモリアルパークを活用し、また関係機関、周辺施設と連携してオリジナリティーの高い様々な事業を展開し、賑わいづくりを行うとともに、利用者サービスの向上、収入の確保に取り組めます。

1 日本丸ウエディング事業

横浜プロモーション事業の横濱ウエディングの一つとして、帆船日本丸船上及びアリーナを使った結婚式を行います。日本丸の新たな魅力開拓と利用者増につなげます。また、日本丸婚礼写真撮影プランも実施します。

2 フリーマーケット事業

市民交流の場、リサイクル活動の場として、リサイクル運動市民の会と共催でメモリアルパークを活用して、毎月フリーマーケットを開催します。

3 横浜港ボートパーク事業

日本丸プールで足漕ぎボートや手漕ぎボートを貸出し、市民が海に親しめるボート事業を実施します。

4 クリスマスナイト日本丸

クリスマスに合わせて日本丸を特別照明、イルミネーション、クリスマスツリー、キャンドルなどで演出するとともに、夜間特別公開します。

5 サマーナイト日本丸

お盆の時期に日本丸とマリタイムミュージアムの公開を夜間延長します。

6 カウントダウン日本丸

大晦日に日本丸を夜間特別公開してカウントダウンを行い、汽笛を吹鳴します。

7 日本丸進水記念日イベント

1月27日の進水記念日に合わせて様々なイベントを行います。

8 オリジナルグッズの販売

人気のあるオリジナルグッズ、帆船日本丸チョコ Q をミュージアムショップで引き続き販売するほか、新たな販売先を開拓します。

平成19年度 収支予算書

平成19年4月1日から平成20年3月31日まで

(単位：円)

科 目	予 算 額
[収入の部]	
1 利用料金収入	44,855,000
観覧料収入	35,398,000
閲覧室収入	17,000
ミュージアム特別展示室使用料	120,000
研修施設使用料	1,600,000
緑地使用料	1,120,000
海洋教室等収入	6,000,000
共益費収入	600,000
2 受託事業収入	334,936,000
指定管理者業務受託事業	334,936,000
3 助成・協賛金	6,600,000
4 自主事業収入	31,018,000
横浜港ポートパーク事業収入	3,916,000
記念品販売収入	13,525,000
新企画イベント収入	2,200,000
利用料金関連収入	2,200,000
自販機手数料	8,000,000
雑収入	1,177,000
補助金収入	0
当期収入合計 (A)	417,409,000
[支出の部]	
1 施設運営事業費	116,071,000
帆船日本丸等施設運営費	116,071,000
2 指定管理者施設管理費	290,278,000
人件費	173,762,000
その他	116,516,000
3 自主事業費	11,060,000
横浜港ポートパーク事業費	2,445,000
記念品制作費	5,543,000
自主事業管理費	3,072,000
4 特定預金支出	0
当期支出合計 (B)	417,409,000
当期収支差額 (A-B)	0

帆船日本丸記念財団・JTB共同事業体組織図

2007.4.1 現在

